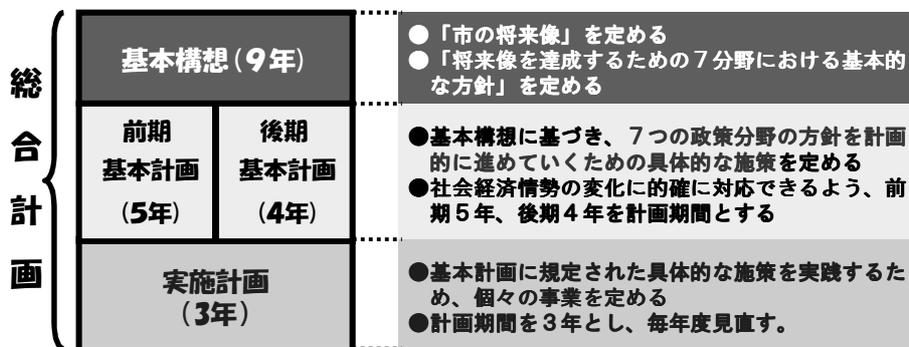


★島田市ゆめ・みらい百人会議第1回全体会  
★総合計画って何？

平成25年10月19日  
市役所大会議室

## 総合計画とは・・・

- ★市の最上位計画で、分野別計画の基本となるもの。
- ★基本構想、基本計画、実施計画の三層で構成されています。
- ★今年度は後期基本計画（H26～H29）を策定しています。



## 市民の意見が届く市政(意見収集の方法)

市民の皆さまの声を後期基本計画に反映させるために！

- 1 住民アンケート【一般】(済み)
- 2 住民アンケート【中高生】(済み)
- 3 企業・団体調査(実施中)
- 4 タウンミーティング(9/18～)
- 5 ゆめ・みらい百人会議(10/19～)
- 6 パブリックコメント(12月)

## 市民の意見が届く市政(意見収集の方法)

### 具体的な市民参加メニュー

#### 1 住民アンケート【一般】

- 市民の意向を量的に把握することを目的に実施。
- 実施期間・方法
  - ・平成25年7月1日～7月15日
  - ・郵送
- 20歳以上の市民3,000人を対象に実施。回収数1,223人。回収率40.7%

#### 2 住民アンケート【中高生】

- これからの島田市を担う若者の意見を把握することを目的に実施。
- 実施時期  
平成25年6月
- 市内8中学校の2年生414人  
市内5高校の2年生188人  
回収数は合計602人

## 市民の意見が届く市政(意見収集の方法)

### 具体的な市民参加メニュー

#### 3 企業・団体調査

- 市内の経済情勢や協働の進め方等を把握することを目的に実施。
- 調査票への回答と聞き取り調査
- 実施時期  
平成25年7月～8月
- 対象数  
企業：22社  
団体：20団体

#### 4 タウンミーティング

- 市内7地区ごとの意見ご要望・課題などを把握することを目的に実施。
- 前期基本計画の成果や実績、後期基本計画に盛り込む予定の事業を説明。
- 実施期間  
平成25年9月18日～10月16日
- 実施地区(7地区)  
川根、五和、金谷、旧島田・大津  
伊久身・大長、六合、初倉

## 市民の意見が届く市政(意見収集の方法)

### 具体的な市民参加メニュー

#### 5 ゆめ・みらい百人会議

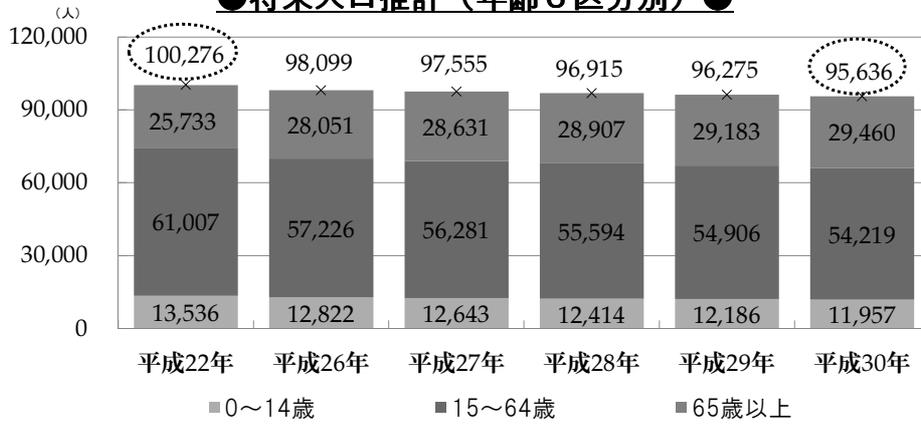
- 市民の手による市民のためのまちづくりの推進と将来を担うまちづくりリーダーの養成を目的に、平成25年10月から始動。
- 会員は、全員公募で募集。応募総数は151人。このうち112人を選考。
- 平成25年度は、基本計画の7つの章ごとに分科会を設置し、出された意見・要望を後期基本計画案に反映。

#### 6 パブリックコメント

- 後期基本計画(案)がまとまった段階で、市のホームページで公表し、意見を募集する。
- 実施時期・期間  
平成25年12月の1カ月間(予定)
- 寄せられた意見を検討し、必要な場合は後期基本計画(案)の内容を見直す。

## 島田市の現状と将来

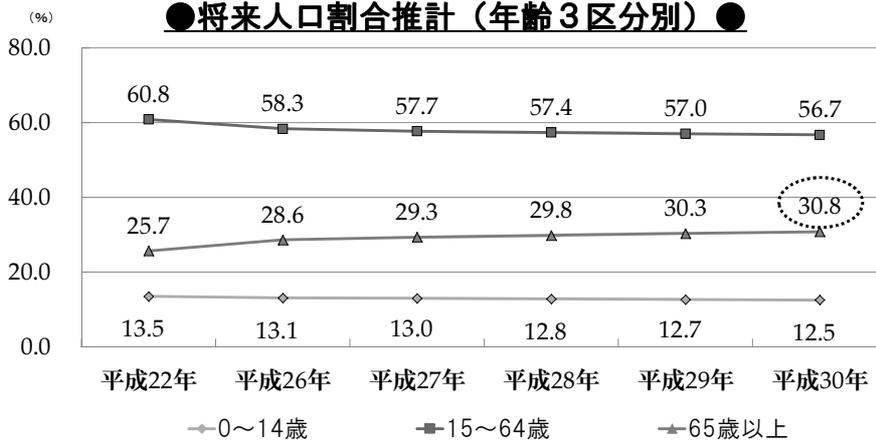
●将来人口推計（年齢3区分別）●



平成30年の島田市の総人口は、平成22年に比べて8年間で4,600人程度減少すると予測されます。

## 島田市の現状と将来

●将来人口割合推計（年齢3区分別）●



平成30年の島田市の高齢化率は30.8%と予測され、市民の約3割が、65歳以上の高齢者となると考えられます。

## 後期計画の重点施策～アンケート集計結果～

(満足度と重要度の点数化による分析より)

【重点施策】…重要度が高いにもかかわらず、市民の満足度が低い取組

- ① 医療の充実
- ② 地震・水害など災害に強いまちづくり
- ③ 市の財政の健全運営
- ④ 障害者が生活しやすい環境づくり
- ⑤ 雇用の確保・勤労者福祉の充実
- ⑥ 生活に密着した道路の整備と維持管理
- ⑦ 安心できる消費生活の実現
- ⑧ 魅力ある商店街づくりなどの商業振興
- ⑨ 情報公開など行政の透明性の向上
- ⑩ 公共交通機関の充実
- ⑪ 計画的な土地利用の推進
- ⑫ 農林業の振興(生産基盤の整備・後継者育成など)

## 後期計画の優先的施策～アンケート集計結果～

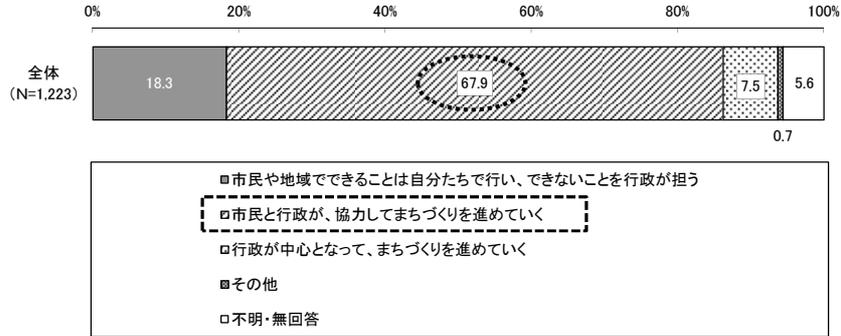
(満足度と重要度の点数化による分析より)

【優先的施策】

- ⑬ 高齢者の医療・介護・福祉の充実
- ⑭ 犯罪防止対策
- ⑮ 交通安全対策
- ⑯ 保育環境の充実や子育て支援
- ⑰ まちの拠点としての駅周辺整備
- ⑱ 企業への支援や誘致などの工業振興
- ⑲ 富士山静岡空港を活用したまちづくり

## 市民意識 ～アンケート集計結果～

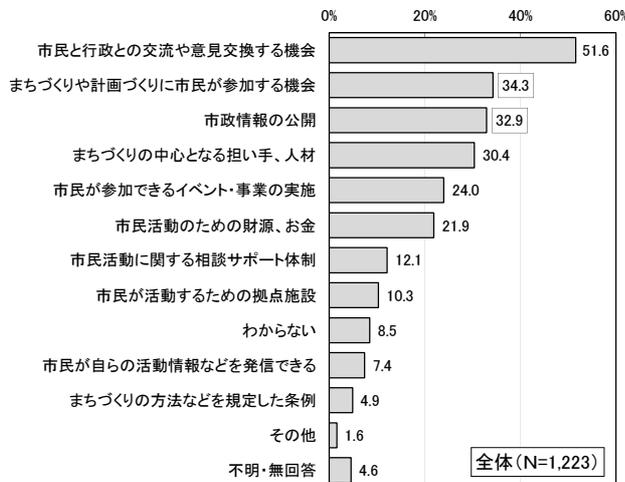
【問】あなたは、これからのまちづくりをどのように進めればよいと思いますか。



これからのまちづくりについて、「市民と行政が、協力してまちづくりを進めていく」と考える市民が67.9%と最も高くなっています。

## 市民意識 ～アンケート調査結果～

【問】市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで、あなたは何が必要だと思いますか。



市民と行政が協働してまちづくりを行うために必要なことは、「市民と行政との交流や意見交換する機会」と考える市民が51.6%と最も高くなっています。

百人会議の設置はこれからの協働に大きな効果をもたらすと考えられます。

## 島田市の将来像と7つの政策分野

人と産業・文化の交流拠点  
水と緑の健康都市 島田

①都市生活基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち（公共交通、情報・交流拠点、道路）

②市民が安全・安心に暮らせるまち（交通安全、防災、防犯）

③産業がいきいきと活発なまち（観光、中心市街地活性化、農林業）

④だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち（医療、次世代育成、福祉）

⑤自然と共生する資源循環型のまち（エネルギー、環境、ごみ・資源）

⑥人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち（教育、文化・芸術、生涯学習）

⑦市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち（行財政改革、公共施設、市民参加・協働）